

2020年11月1日「みほしるべ茶会」実施記録報告

世界へ静岡茶を広げよう！実行委員会 会長 高橋信由 席主

記録写真の掲載



2020年11月1日(日)実施

- ・完全予約制人数制限、アルコール消毒、ワイピング、銘々でお菓子配布、茶巾・茶碗熱湯消毒でコロナ感染拡大防止を実施
- ・お点前、お運びお道具は川上
- ・水屋、準備お運び半東は齋藤
- ・携帯茶室組立、お花は栗田様
- ・羽衣ホテル遠藤様より椿寄贈
- ・11時半最初の来客(村松二六様)
- ・12時2クール目来客(齋藤の客)
- ・13時3クール目来客(宮城島様)
- ・14時4クール目来客(会長の客)
- ・15時5クール目来客(栗田様客)
- ・15時半最終クール来客(佐藤客)
- ・総勢40名程度(1席10名以内)
- ・Zoom中継を行いカンヌ市仏日協会へ招待を送信。静岡市・カンヌ市姉妹都市提30周年を記念する来年に備えて配信を実施
- 反省：受付と水屋、お運びにもう2名くらいは手伝いが必要であった。今年は特にコロナ対策もあり、最少の人数で対応した。
- 課題：経費がお客様からの1席実費600円を上回った。来年は企業協賛等を募るか実費参加費見直しも検討する必要がある。



静岡市お茶のまち推進課より、パネルを借出し展示した。



お点前は、川上正夫（お道具も川上の所有）が担当



水屋とお運び担当の齋藤佳代はエプロンと袱紗で対応



お茶室の設えについて、質疑応答を行いながら拝見

主茶碗「富士山」、次客茶碗「浜辺」、三客用「さざ波」



蟹の蓋置が、浜辺の様子を想起させる

知人同士での完全予約制茶会ならではの座談会も始まる





背景の松の景色も良くこの日は爽やかな晴天であった

最大人数での来客にも対応し、席主も巧みに話を進めた



お茶室での「拝見」も好評、様々な工夫に感心された

骨董品、普段使いのお道具の混在で記念の演出となった





2020年11月1日(日)初の「みほしるべ茶会」が開催された。フランス・カンヌ市と静岡市は、来年2021年に姉妹都市提携30周年を迎える。今年はプレ茶会として実施、コロナ対策を以ての完全予約制を採った。













ご関係者 各位

取り急ぎ、ご報告を申し上げます。

2020年11月1日の「みほしるべ茶会」、無事に完了致しました。
このお茶会をスタートにして、今後も不定期で継続したいと考えております。
静岡本山抹茶の海野様にも、ご報告致しました。

【携帯茶室のメリット】

どこでも実施が可能である

どこでも日本文化、茶文化の良さを発信できる
マルシェやワークショップに活用が可能である

「食育」「茶道（礼節）教育」に役立つ

海外にも持ち込める

お茶会以外の様々な用途が可能である

どこでも「異空間」を設えられる

防災個室としても活用出来る

「文化」としてのお茶振興の一役を担える 等

イベント等で、お茶会をやる等のご予定がありましたらお手伝い致します、いつでもご連絡下さい。
今後とも、何卒、宜しくお願い致します。

齋藤 佳代 拝
2020. 11. 5